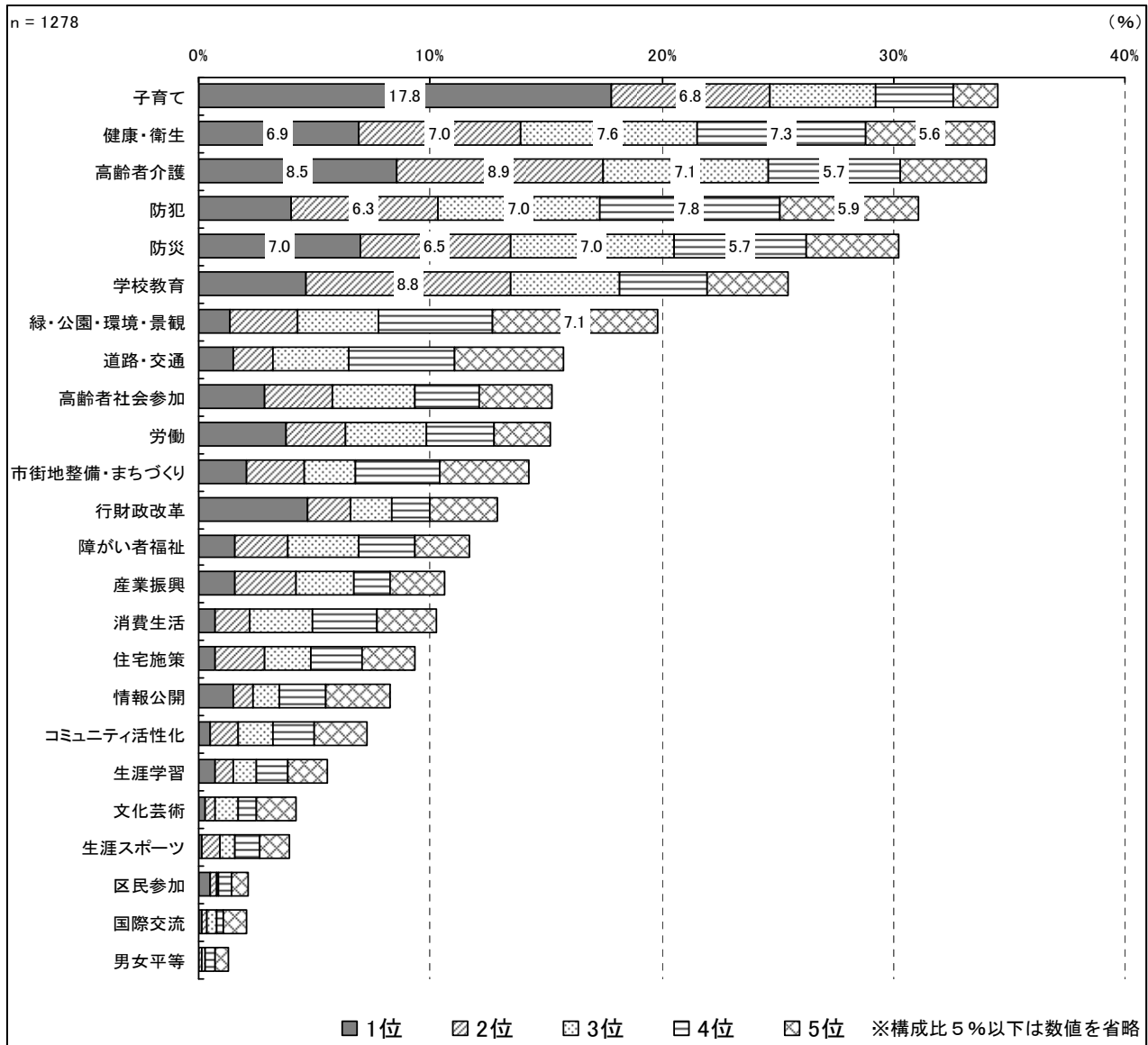


(7) 区が重点的に力を入れるべき施策

① 区が重点的に力を入れるべき施策(問14)

(ア) 全体概観

- ・ 24の施策分野を提示し、今後、区が重点的に力を入れるべき施策分野について、「第1位」から「第5位」までを選択していただいた結果は以下のとおりです。



- ・ 「第1位」に選ばれた割合のみでみた場合、最も選ばれた施策分野は「子育て」の17.8%であり、次いで選ばれた施策分野は「高齢者介護」(8.5%)、「防災」(7.0%)となっています。
- ・ なお、「行財政改革」は「第1位」から「第5位」までを選択した方の合計では12位であったのに対して、「第1位」を選択した方に限ってみると5位となっています。

順位	平成23年度	(%)
1位	子育て	17.8
2位	高齢者介護	8.5
3位	防災	7.0
4位	健康・衛生	6.9
5位	行財政改革	4.7

順位	平成21年度	(%)
1位	高齢者介護	19.5
2位	子育て	19.0
3位	健康・衛生	7.9
4位	学校教育	7.7
5位	防犯	5.2

(イ)性別

・「第1位」から「第5位」までを選択した方の合計の割合を性別に見ると、「男性」で「高齢者介護」の順位が5位と相対的に低く、「女性」で「健康・衛生」と「高齢者介護」の順位が全体傾向と入れ替わっています。

		1位	2位	3位	4位	5位
全体		子育て 34.5	健康・衛生 34.4	高齢者介護 34.0	防犯 31.1	防災 30.2
性別	男性	健康・衛生 34.4	子育て 32.4	防犯 30.9	防災 30.3	高齢者介護 29.4
	女性	子育て 37.0	高齢者介護 36.9	健康・衛生 34.6	防犯 32.4	防災 32.1

※単位：%

(ウ)年齢別

・「第1位」から「第5位」までを選択した方の合計の割合を年齢別に見ると、「20歳代」「30歳代」「40歳代」で「高齢者介護」が5位以下になり、代わりに「20歳代」では「緑・公園・環境・景観」が5位、「30歳代」では「学校教育」が3位、「40歳代」では「学校教育」が4位に入っています。「50歳代」以上では「高齢者介護」が1位となっており、特に「60歳代」では「防犯」が5位以下になる代わりに「高齢者社会参加」が5位に入っています。

		1位	2位	3位	4位	5位
全体		子育て 34.5	健康・衛生 34.4	高齢者介護 34.0	防犯 31.1	防災 30.2
年齢	20歳代	子育て 49.6	防犯 42.9	防災 40.6	健康・衛生 37.6	緑・公園・環境・景観 30.8
	30歳代	子育て 57.0	防災 40.3	学校教育 39.8	防犯 36.6	健康・衛生 33.9
	40歳代	健康・衛生 44.7	子育て 40.8	防犯 40.3	学校教育 34.5	防災 34.0
	50歳代	高齢者介護 39.2	健康・衛生 32.8	防災 31.7	子育て 30.6	防犯 30.6
	60歳代	高齢者介護 38.4	健康・衛生 28.4	防災 26.2	子育て 21.8	高齢者社会参加 20.7
	70歳以上	高齢者介護 39.5	健康・衛生 32.2	防犯 26.8	子育て 23.8	学校教育 23.4

※単位：%

(エ) 地域別

- ・「第1位」から「第5位」までを選択した方の合計の割合を地域別に見ると、「板橋地域」で「子育て」の順位が5位と低くなっており、また「赤塚地域」で「健康・衛生」の順位が4位と低くなっている一方で「学校教育」が5位に入っています。

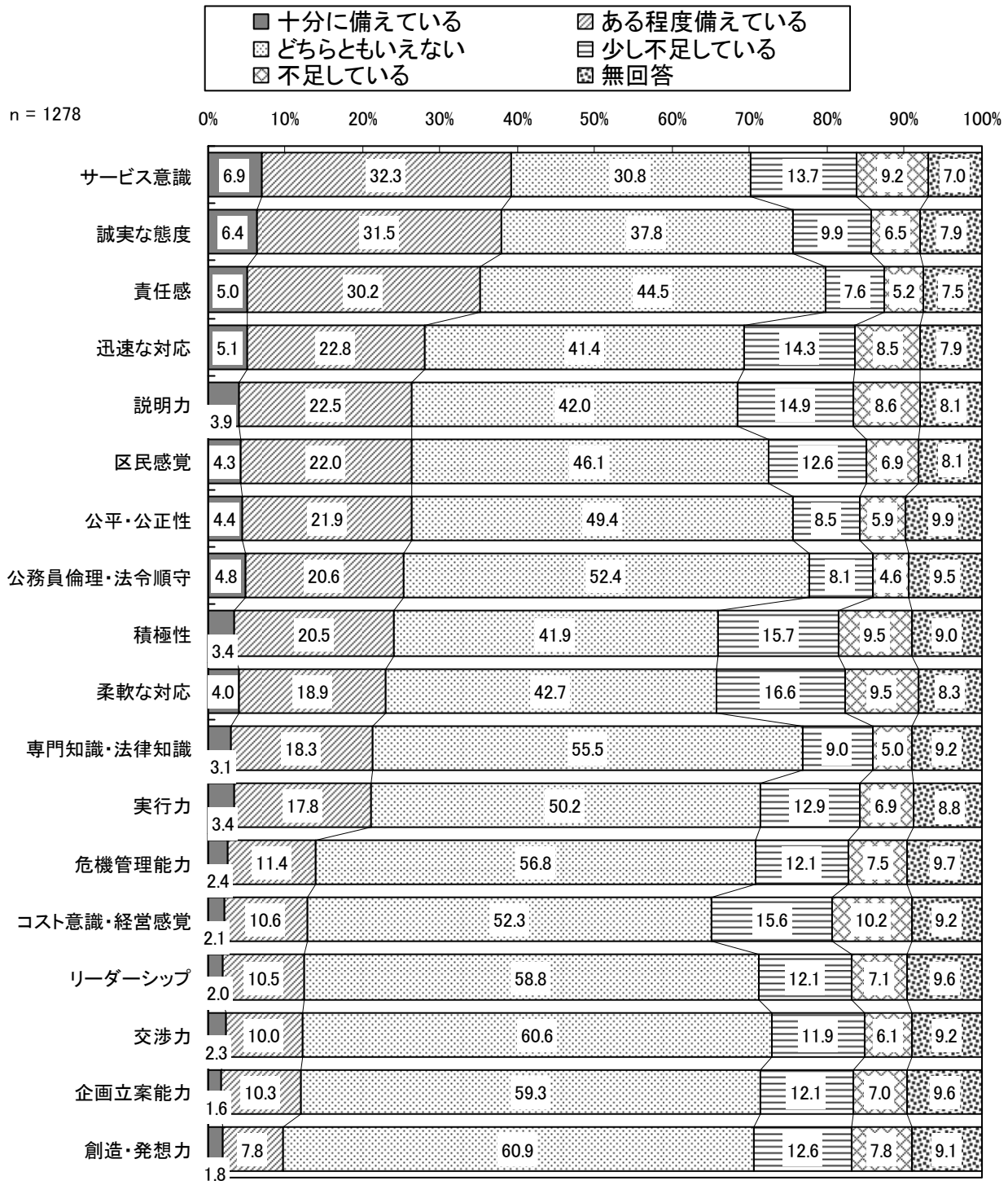
		1位	2位	3位	4位	5位
全体		子育て 34.5	健康・衛生 34.4	高齢者介護 34.0	防犯 31.1	防災 30.2
居住地	板橋地域	高齢者介護 33.7	防犯 33.3	健康・衛生 33.0	防災 33.0	子育て 31.3
	常盤台地域	健康・衛生 37.9	子育て 37.4	高齢者介護 35.4	防犯 34.3	防災 30.8
	志村地域	子育て 37.7	健康・衛生 34.8	高齢者介護 34.4	防災 29.6	防犯 29.6
	赤塚地域	子育て 36.3	高齢者介護 35.9	防災 35.1	健康・衛生 34.3	学校教育 31.0
	高島平地域	健康・衛生 33.2	子育て 32.4	高齢者介護 31.1	防犯 29.0	防災 25.2

※単位：%

(8)職員に期待する能力・資質

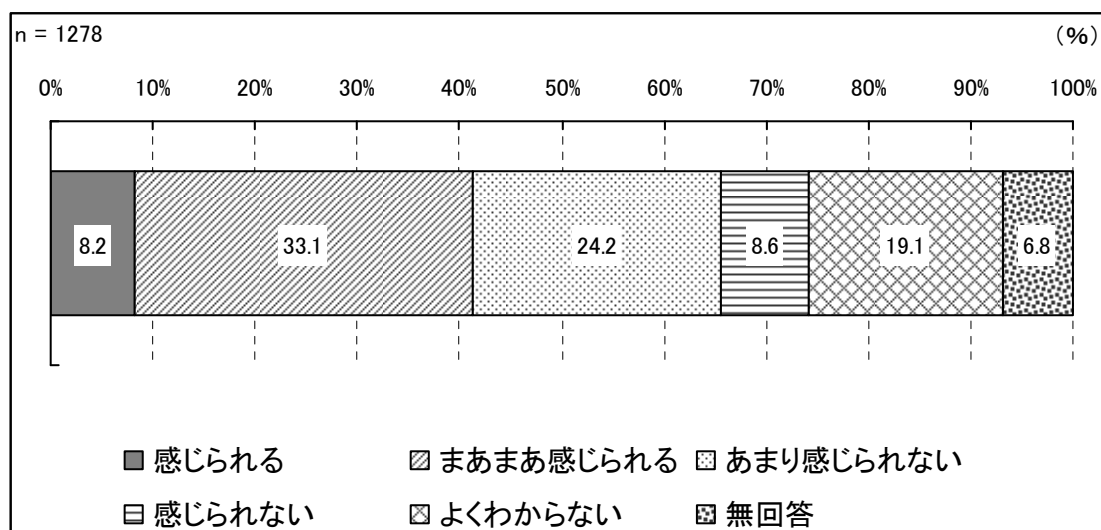
①職員の能力・資質の現状評価(問15)

- ・「十分に備えている」「ある程度備えている」という肯定的な回答の合計の割合順に並べたグラフは、以下のとおりとなっています。最も肯定的な回答を得ている項目は「サービス意識」(39.2%)であり、次いで「誠実な態度」(37.9%)、「責任感」(35.2%)となっています。
- ・「少し不足している」「不足している」という否定的な回答をした方の合計の割合では、「柔軟な対応」が26.1%と最も高く、次いで「コスト意識・経営感覚」(25.8%)、「積極性」(25.2%)となっています。



②職員の「もてなしの心」に対する評価(問16)

- ・「感じられる」「まあまあ感じられる」という肯定的な回答をした方の合計が41.3%であり、「あまり感じられない」「感じられない」という否定的な回答をした方の合計の32.8%を8.5ポイント上回っています。



(9) 区政全般に関するご意見(自由記述)

①全体及び地域別の傾向(問18)

- 調査票の最後に設けた自由記述欄にいただいたご意見を、現行の基本計画に掲げる17項目の「個別目標」及び2項目の「計画推進のために」に係る方針を基に以下の21項目に分類し、区内5地域別の記述数を以下に掲載します。複数の項目に該当する記述が書かれている場合、各々の項目にてカウントしているため、合計は100%より大きくなります。
- 全体では、全有効回収数1,278人のうち、約1/3にあたる407人の方に記述していただきました。
- 地域別では、「板橋地域」「赤塚地域」で最も多い96人の方に記述していただき、「常盤台地域」で62人と最も少ない記述数となっています。

個別目標		記述数(割合%)					全体
		板橋地域	常盤台地域	志村地域	赤塚地域	高島平地域	
基本目標Ⅰ	安心して子どもを産み育てられるまち	14(14.6)	8(12.9)	13(18.6)	5(5.2)	4(5.6)	44(10.8)
	次世代の生きる力をはぐくむまち	1(1.0)	0(0.0)	2(2.9)	2(2.1)	3(4.2)	8(2.0)
	一人ひとりが健康づくりに取り組むまち	3(3.1)	2(3.2)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)	6(1.5)
	生涯を通じてこころ豊かに過ごせるまち	12(12.5)	7(11.3)	7(10.0)	13(13.5)	4(5.6)	45(11.1)
	自立とふれあいにより社会参加ができるまち	2(2.1)	5(8.1)	2(2.9)	4(4.2)	1(1.4)	14(3.4)
	すべての人が個性や能力を発揮して活躍するまち	4(4.2)	0(0.0)	1(1.4)	2(2.1)	1(1.4)	9(2.2)
基本目標Ⅱ	地域の課題を協働で解決するまち	3(3.1)	3(4.8)	0(0.0)	3(3.1)	1(1.4)	11(2.7)
	産業が発展するまち	0(0.0)	1(1.6)	1(1.4)	0(0.0)	1(1.4)	3(0.7)
	地域資源を生かした新たな産業を創造するまち	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	豊かな地域文化をはぐくむまち	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	異なる文化や価値観を尊重しあい交流するまち	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
基本目標Ⅲ	安全・安心活動に取り組むまち	2(2.1)	1(1.6)	2(2.9)	2(2.1)	1(1.4)	9(2.2)
	災害に強く住み続けられるまち	5(5.2)	3(4.8)	7(10.0)	3(3.1)	2(2.8)	21(5.2)
	地域の個性を生かした美しいまち	2(2.1)	3(4.8)	4(5.7)	3(3.1)	3(4.2)	15(3.7)
	環境を守り資源を大切に利用するまち	3(3.1)	4(6.5)	5(7.1)	6(6.3)	8(11.1)	26(6.4)
	暮らしに便利な道路・交通網があるまち	12(12.5)	7(11.3)	9(12.9)	15(15.6)	11(15.3)	55(13.5)
	情報の保護と活用を図るまち	2(2.1)	2(3.2)	2(2.9)	4(4.2)	0(0.0)	10(2.5)
の計画推進	区民と行政との協働関係の形成	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)	1(0.2)
	新しい時代に対応した行政経営の確立	31(32.3)	27(43.5)	20(28.6)	34(35.4)	30(41.7)	143(35.1)
その他	区政全般について	19(19.8)	11(17.7)	14(20.0)	12(12.5)	11(15.3)	72(17.7)
	アンケート自体、その他について	23(24.0)	9(14.5)	13(18.6)	20(20.8)	14(19.4)	82(20.1)
合計		96	62	70	96	72	407

※地域に関して無回答があるため、区内5地域の合計と全体の数値は一致しません

②基本目標別の主な記述内容

(ア)基本目標Ⅰに関する自由記述

- ・基本目標Ⅰに関しては、特に「Ⅰ－1 安心して子どもを産み育てられるまち」(44件)、「Ⅰ－4 生涯を通じてこころ豊かに過ごせるまち」(45件)に関する記述が多く見られました。
- ・「Ⅰ－1 安心して子どもを産み育てられるまち」に関する記述を一部抜粋すると、以下のとおりです。

- － さらに保育園を増やし、共働き世帯が生活しやすい環境を望みます。
- － 子どもを産み育てやすい環境を実際的な補助等を充実させれば、若い世代や新しい世代の区民が増加すると思います。
- － 成増にはマンションが続々と建ち、街には乳幼児を連れてお母さんがとても多いのに、0歳児を受け入れてくれる認可保育園が一つも無く、皆、隣の赤塚まで行かなければならない状況です。
- － 2人で共働きをしないと生活が出来ないので、子供をつくるにも、預ける所が少なく、子供を作ろうと思えないです。安心して女性が働きながら住めるようにして下さい。
- － 板橋区の子育て支援や福祉については大変充実していると思っております。

- ・「Ⅰ－4 生涯を通じてこころ豊かに過ごせるまち」に関する記述を一部抜粋すると、以下のとおりです。

- － ご近所に老老介護の方がいて、これからの介護について考えさせられることが多く、不安です。家族に負担の少ない、そして経済的にも負担の少ない、穏やかな老後が誰でも送れる世の中になって欲しいものです。
- － 広報いたばしで、よく介護教室とか、物忘れ相談とか、色々な教室がありますが本当に参加して聞きたい人は、介護している人を1人家に置いて外に出られないのです。その様な介護人、孤独の人も居ることを忘れないで欲しい。
- － 私の居る団地も単身者も増え、高齢化が進んでいます。今後は高齢者や単身者に優しいまち(板橋区)であって欲しいと願います。
- － 高齢者にとっては将来が大変不安(生活、健康、医療)で、少しでも安心感が持てるような行政をしてください。
- － 高齢者を抱える家族に、もっと行政サービスが行き届くようなケアをしてもらえるようになってほしいと思います。

(イ)基本目標Ⅱに関する自由記述

- ・基本目標Ⅱに関する記述は14件とごくわずかであり、そのうち11件が「Ⅱ－1 地域の課題を協働で解決するまち」に関する記述となっています。
- ・「Ⅱ－1 地域の課題を協働で解決するまち」に関する記述を一部抜粋すると、以下のとおりです。

- － 地縁による団体活動等、新規の区民には敷居が高く、世代交代もできていない。そのため、条例等で人の入れ替えを行った方がよいと思う。行政として地域に踏み込んで欲しい。
- － 赤塚という地域は徳丸や上板橋と違い、コミュニケーションはないし、老人介護にしても、成増に行かないとサービスがありません。
- － 地域のイベント、学校行事等で参加しますと、板橋区で取り組んでいる様子が実感出来ます。
- － 積極的に町会に入るきっかけを促す声かけをするだけでも、町の発展につながるきっかけになるのではと考えます。
- － まちづくりの参画については、区が重点課題として“地域協議会”の充実を積極的に図らなければ、コミュニティは他市町村より停滞をします。早急に実施をして下さい。
- － 区民の共存意識が低いと思われるので、コミュニケーションイベントの機会を増やすと良い。もっと他区に情報発信をして、イメージの良いアピールをしてほしい。

(ウ)基本目標Ⅲに関する自由記述

- ・基本目標Ⅲに関しては、特に「Ⅲ－5 暮らしに便利な道路・交通網があるまち」(55件)、「Ⅲ－4 環境を守り資源を大切に利用するまち」(26件)に関する記述が多く見られました。
- ・「Ⅲ－5 暮らしに便利な道路・交通網があるまち」に関する記述を一部抜粋すると、以下のとおりです。

- － 何日も放置されている自転車を撤去するのは当然だが、数時間置いた自転車を持ち去るのは酷すぎる。どこまでが区政の範囲なのかよく分からないが、歩行者、自転車のマナーの悪さが目立つ。歩きタバコ禁止区域の増加、歩きながら自転車に乗りながらの携帯電話使用、ゲーム機使用等の禁止、その他マナー向上を周知させ、安心して歩けるまちづくりを行って欲しい。
- － 高島平、新板橋等、駅前の駐輪禁止対応、路上喫煙の対応に不満。朝7時～夜24時ぐらいまでは徹底してやるべき。
- － 他区との交通アクセス及び手段が不足しており、不便です。早朝・深夜等の移動手段も充分ではないと思います。
- － 旧中山道の道路がきれいになり、通りやすいです。区民の声を反映して下さり嬉しく思います。
- － 環八を早く整備してほしい。道路だけつくって周りの環境が置き去り状態になっている。
- － バス、鉄道は一見充実しているように見えるが、住宅地からバス停や駅まで遠い地域があったり、あっても行き先が限定される(例として王子行きのバスしかない)、といったことが私が住んでいて板橋に思うところです。
- － 私の家の近くで道路の修復工事が行われていますが、修復する理由がよく分かりません。優先順位を見直し、修復が必要かどうか再度検討してください(経費が浮いたら被災地へ)。板橋区の道路の修復より被災地の修復が先だと思います。

- ・「Ⅲ－４ 環境を守り資源を大切に利用するまち」に関する記述を一部抜粋すると、以下のとおりです。

- － 最近の公園等が汚い(ゴミ、ベンチの汚れ)ので、設備改善をして欲しい。
- － 工業地帯と住宅地域を一体にしないよう規制をしていただきたい。住居地域が増えている地域の工場は、音・におい・汚染等住環境として、良くないと思います。
- － 放射能汚染の数値を学校毎に公表してほしい。
- － 地域の緑化運動にも力を入れているが、道路の植木にしても植えっぱなし、その後の説明も手入れもなく、やりっぱなし。そんな状態ならば住民としては、何もしてくれない方が返って手間が掛からず、逆に楽。年老いて行くと段々と手入れも苦痛になる。最後迄きちんと管理をお願いしたい。

(エ)「計画推進のために」及び区政全般に関する自由記述

- ・「計画推進のために」及び区政全般に関しては、特に「新しい時代に対応した行政経営の確立」(143件)に関する記述が多く見られました。また、「アンケート自体、その他」に関するご意見も82件いただいております、特にアンケートへの改善要望は次回以降のアンケートに反映する必要があります。
- ・「新しい時代に対応した行政経営の確立」に関する記述を一部抜粋すると、以下のとおりです。

- － 区の行政も民間企業と同様にコスト意識・業績評価等を強力に進めるべきと思います。少ない税収でも大きな成果が出るような仕組みや評価制度が必要。また、行政サービスも受益者負担の考え方が必要と思います。個人で充分出来るようなサービスは不要と思います。
- － 殆ど区の行事に参加する機会がないが、行政サービスは民・官で共同して行っていくものと言うよりは、あくまでも官が主体となって進め、民は自分にとってより良いサービスを行ってくれる官(地域)を選ぶことによって行われていくものだと思っています。
- － 自然に区政がどんなことをしているのか分かる環境が出来ると、意見や感想が伝えることがし易いと思います。
- － 時々区報等で区の施策について情報は入るが、何が地域の課題で、どんな取り組みをしている(又は、すべきと考えている)のかよく分からない時が多い。行政サービスの情報は充実して利用し易いが、区の姿をどうしたいのかももう少し分かりやすくしてほしい。
- － 今後、行政は、これらの設備・施設を如何に効率的に維持・管理していくかが基本的な仕事であろうと思います。今後は、子育てに代表される未来に向かっての夢のある目標設定と区民一人一人の参加意欲の向上に努力することが新たな役割で、必然的に仕事は民間に移していくこととなります。但し、防災面については、区民の努力には限界があるので、自治会組織をより強化して、ことが起きた時に備える体制を整備していくべきです。